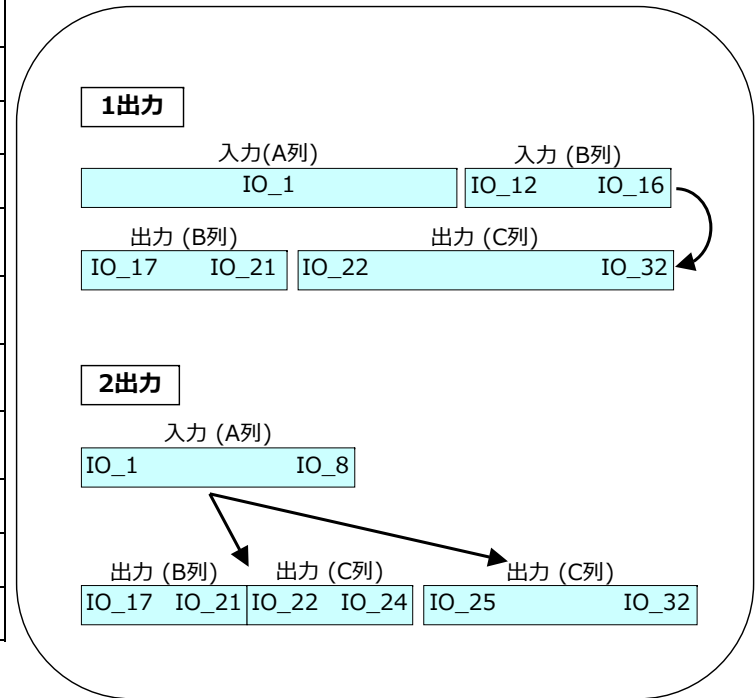
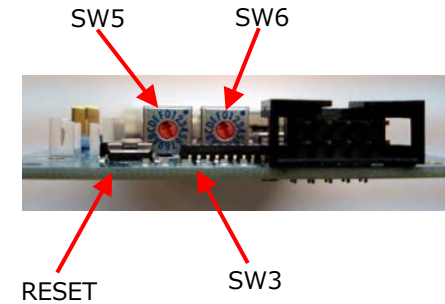


HDS-601G プログラマブル I/O ボード 標準ファームウェア仕様書 (Ver.1.1)

mode \ bit	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	出力				
00	択一選択 ^(①)																1出力				
01	択一選択 1 ^(①)												択一選択2 ^(②)				1出力				
02	択一選択 1 ^(①)										択一選択2 ^(②)						1出力				
03	択一選択 1 ^(①)										択一選択2 ^(②)						1出力				
04	択一選択1 ^(①)								択一選択2 ^(②)								1出力				
05	択一選択 1 ^(①)										択一選択2 ^(②)		択一選択3 ^(③)				1出力				
06	択一選択 1 ^(①)								択一選択 2 ^(②)				択一選択3 ^(③)				1出力				
07	択一選択 1 ^(①)						択一選択 2 ^(②)				択一選択3 ^(③)						1出力				
08	択一選択1 ^(①)				択一選択2 ^(②)				択一選択3 ^(③)				択一選択4 ^(④)				1出力				
09	択一選択 ^(①)												FF	FF	FF	FF					1出力
													^(②)								
0A	択一選択 ^(①)										FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	1出力		
											^(②)										
0B	択一選択 ^(①)				FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	1出力			
					^(②)																
0C	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	1出力				
	^(①)																				
0D																					
0E (*1)	択一選択 ^(①)																2出力				
0F (*1)	択一選択1 ^(①)				択一選択2 ^(②)												2出力				



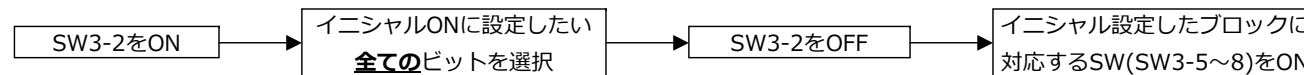
- 入出力は全て負論理です。
- モードの設定は SW5（上位）、SW6（下位）で行います。
- 1出力の場合、16bit入力(IO_1~IO_16)に対して処理を行い、IO_17~IO_32に出力します。2出力の場合は8bit入力(IO_1~IO_8)に対して処理を行い、IO_1~IO_24、IO_25~IO_32に出力します。(出力図参照)
- モードの設定は SW5（上位）、SW6（下位）で行います。

■ SW3-1：未使用

■ SW3-2：イニシャル設定

SW1-2をONにした後、イニシャル値をセットしてください。(SW3-2がONになった後のSW変化がイニシャル値としてセーブされます)

※ イニシャル値 設定方法



(注) イニシャル設定モードでは1度に全ての出力値を保存するので、イニシャル値を設定したい全ての出力を選択してからSW3-2をOFFにして下さい。

■ SW3-3：未使用

■ SW3-4：2度押しOFF設定

SW3-4をONで択一選択部分が2度押しOFF付になります(2出力のモード(E・F)を除く・基板一括設定)

■ SW3-5~8：起動時の出力状態

ON：起動時に最終状態の保存値を読み込み。 OFF：起動時にイニシャル設定された値を読み込み。

最終状態保存モードは、最後に出力が変化してから5秒間出力が変化しない状態が続いたときに保存されます。

SW3-5~8をONすることにより、SWに対応したブロックが起動時にイニシャル値を取ることが可能になります。

※ イニシャル/最終状態保存選択方法

設定SW	処理ブロック
SW3-5	①
SW3-6	②
SW3-7	③
SW3-8	④

- mode E・F（*1）
 - ・ OUT1~8は、アクティブ[L]のラッチ出力。
 - ・ OUT9~16は、アクティブ[L]のパルス出力。
 - ・ 出力パルスは、OUT1~8の↓タイミングと同期した1パルスを出力します。(パルス幅200ms)